

事業群評価調書(令和4年度実施)

| | | | | |
|-------|---------------------------------|----------------|-----------------------------------|------|
| 基本戦略名 | 3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る | 事業群主管所属・課(室)長名 | 企画部 政策企画課 | 浦 亮治 |
| 施策名 | 3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり | 事業群関係課(室) | | |
| 事業群名 | ④ IRの整備や新幹線の開業等を見据えた大村湾周辺地域の活性化 | 令和3年度事業費(千円) | ※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額 0 | |

1. 計画等概要

| | | | | | | | | | |
|---|----------------------|----------------------------------|----|----|----|----|----|----------|---|
| (長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文) | | (取組項目) | | | | | | | |
| 九州新幹線西九州ルートの開業やIR誘致の動きを見据え、本県を訪れた方に大村湾周辺地域から離島地域を含めた県内各地域への周遊を促し、県民も含めた利便性が高くストレスのない移動の実現を目指すため、MaaS等の新たなモビリティサービスの導入を図り、観光地域づくりを推進します。 | | i) MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスの導入の推進 | | | | | | | |
| 事業群 | 指標 | 基準年 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 最終目標(年度) | (進捗状況の分析) |
| | MaaS等新たなモビリティサービスの導入 | 目標値① | — | — | 導入 | — | — | 導入(R5) | |
| | 実績値② | — | — | — | — | — | — | 進捗状況 | |
| | | 達成率②/① | — | — | — | — | — | — | 交通事業者等で構成する「長崎県MaaS導入推進協議会」において、本県におけるMaaS導入の方向性を示した「長崎県MaaS導入指針」を令和3年5月に策定するとともに、MaaS運営組織の設立に向けた検討等を進めた。また、民間事業者の主体的な取組を促すなど、本県におけるMaaS導入に向けて、着実な進捗が図られている。 (令和4年4月「長崎県MaaS実行委員会」を設立) |

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

| 取組項目 | 中核事業 | 事業番号 | 事務事業名 | 事業費(単位:千円) | | | 事業概要 | 指標(上段:活動指標、下段:成果指標) | | | 令和3年度事業の成果等 | |
|------------|------|------|-------------------|----------------|--------------|------------------|--|---------------------|--------------------------|------|-------------|------|
| | | | | R2実績 | うち一般財源 | 人件費(参考) | | 主な指標 | R2目標 | R2実績 | | 達成率 |
| 事業実施の根拠法令等 | | | | R3実績 | R4計画 | | 令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容) | | R3目標 | R3実績 | — | |
| 事業実施の根拠法令等 | | | | 法令による事業実施の義務付け | 県の裁量の余地がない事業 | 他の評価対象事業(公共、研究等) | | 事業対象 | R4目標 | — | | — |
| 事業期間 | | | | 事業実施の根拠法令等 | | | 事業対象 | | — | | | |
| 所管課(室)名 | | | | 事業実施の根拠法令等 | | | | 事業対象 | — | | | |
| 取組項目 i | ○ | 1 | 新モビリティサービス導入推進事業費 | 5,047 | 2,528 | 3,912 | 交通事業者等で構成する「長崎県MaaS導入推進協議会」において、本県におけるMaaS導入の方向性を示した「長崎県MaaS導入指針」を策定するとともに、MaaS運営組織の設立に向けた検討を進め、MaaS導入までのスケジュール等を共有することができた。 | | 【活動指標】 | 4 | 5 | 125% |
| | | | (R3終了)R2-3 | 0 | 0 | 3,895 | | 【成果指標】 | 4 | 1 | 25% | |
| | | | 政策企画課 | — | — | — | | 県内交通事業者等 | MaaS等新たなモビリティサービスの導入(R5) | — | — | — |
| | ○ | 2 | 新モビリティサービス構築推進事業費 | 28,592 | 14,296 | 3,841 | MaaS運営組織である「長崎県MaaS実行委員会」への補助及びアドバイザーとしての参画により、本県における広域MaaSを導入し、利用促進を図る。 | 【活動指標】 | 2 | — | — | |
| | | | (R4新規)R4-5 | — | — | — | | 【成果指標】 | — | — | — | |
| | | | 政策企画課 | — | — | — | | 県内交通事業者等 | MaaS等新たなモビリティサービスの導入(R5) | — | — | — |

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

| | | |
|---|--|---|
| i | MaaSをはじめとする新たなモビリティサービス導入の推進 ●実績の検証及び解決すべき課題 長崎県MaaS実行委員会において、令和4年度にサービスがスタートされたが、利用促進や利用可能エリアの拡大、新たなサービスの提供などの利便性向上に取り組んでいく必要がある。 | ●課題解決に向けた方向性 観光や交通の担当所属とも連携しながら、事業者や市町等との調整や働きかけなどを行い、長崎県MaaS実行委員会が取り組む、利用促進策や更なる事業者の参画、観光・商業施設等と連携した新たなサービスの提供等を支援する。 |
|---|--|---|

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

| 取組項目 | 中核事業 | 事業番号 | 令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 | | 令和5年度事業の実施に向けた方向性 | | |
|--------|------|------|--|---------------------------------------|-------------------|--|-------|
| | | | 事務事業名 事業期間 所管課(室)名 | ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載 | 事業構築の視点 | 見直しの方向 | 見直し区分 |
| 取組項目 i | ○ | 2 | 新モビリティサービス構築推進事業費 (R4新規)R4-5 政策企画課 | R4新規 | ①⑥ | 利用促進や利用可能エリアの拡大、新たなサービスの提供などの利便性向上のため、事業者や市町等との調整や働きかけなどを行い、長崎県MaaS実行委員会が取り組む、利用促進策や更なる事業者の参画、観光・商業施設等と連携した新たなサービスの提供等を支援する。 また、九州MaaS研究会に参加し、九州一体となったMaaS展開への協議を進めている。 | 改善 |

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せていないか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点